
全国キャラバン講習会

「第5回全国キャラバン講習会 in 静岡」開催結果報告

環境アセスメント学会常務理事 田中 章

1. はじめに

今回で記念すべき5回目になる全国キャラバン講習会が、2016年10月29日に静岡県静岡市アイセル21にて開催された。会場もその後の懇親会も交通のやや不便な場所であったにもかかわらず講習会に約90名、懇親会に約30名の参加があり、質疑応答も活発なたいへん盛況な会となった。

静岡市、静岡県には、2016年5月に愛知県名古屋市で開催されたIAIA16のテクニカルツアーとして日本平・久能山東照宮・三保の松原へのバス2台90名の静岡ツアーでたいへんお世話になっており、引き続きこのキャラバンでお世話になった形である。同時に同県の業界団体である静岡県環境アセスメント協会、日本環境アセスメント協会にもご協力をいただいた。また、環境省環境影響評価課長永島徹也氏、静岡市環境創造課大村博哉氏には講師役を快く引き受けていただいた。この場を借りて皆様に感謝申し上げる次第である。

キャラバン先として静岡を選んだ大きな理由の一つは、静岡市が2015年に環境影響評価条例を公布したばかりだったことである。そこで今回の講習会は、県内の関係者はもちろんのこと一般市民をもターゲットとし、そのために環境アセスメント制度の入門的内容、市民・県民が興味を持っている分野、全体の意見交換会の3つを柱とする方向で開催することが静岡市と合意していた。このように地元との間で事前に目的やターゲットを明確にしてきたことが、結果として冒頭で述べたように多くの人が参加した盛會に結びついた。

2. プログラム

プログラムの全体を下に示した。冒頭、学会事務局の尾上氏より学会紹介があった。最初の講演は、まず国の環境影響制度を学ぶことを目的として、環境省永島課長から、国と自治体の関係、改正された

国の環境影響評価法での配慮書・報告書手続きや火力・風力の状況・課題を中心に説明があった。次の石川理事の講演は「環境アセスメントの心得」として、環境アセスメントの目的や意義について、特に、持続可能な社会を構築するための計画作成時におけるツールとしての重要性について解説があった。

3つ目の講演は一転して市民の興味が高い分野として田中(章)常務理事より、生物多様性の定量的評価やオフセット・バンキングなどの生物多様性分野の最新動向について動画を交えての紹介があった。以上の3つの講演で環境アセスメントについての認識を深めた後に、地元静岡市の大村氏から、静岡市の自然環境等の特徴、法と条例との関係を含め施行されたばかりの静岡市環境影響評価条例の内容について説明があった。

最後に、全体の意見交換会として、各講演内容に対する質疑応答、自由意見など会場全体での活発な意見交換によって会場は熱気に包まれたまま閉会となり、懇親会に移った。

○日時 2016年10月29日(土) 14:00~16:30

○会場 静岡市アイセル21

(葵生涯学習センター・静岡市女性会館)

○プログラム

(1) 学会案内

環境アセスメント学会事務局

(2) 講演1 「環境アセスメントの意義と最近の動向」

永島徹也 環境省環境影響評価課長

(3) 講演2 「小冊子“環境アセスメントの心得”について」

石川公敏 環境アセスメント学会理事

(4) 講演3 「生物多様性分野の最新動向」

田中 章 環境アセスメント学会 常務理事

東京都市大学環境学部環境創生学科教授

(5) 情報提供「静岡市環境影響評価制度について」
大村博哉 静岡市環境創造課

(6) 意見交換会

○参加費 無料

○主催 環境アセスメント学会

○共催 静岡市、(一社)日本環境アセスメント
協会、静岡県環境アセスメント協会

○懇親会 「ディエゴ」にて

3. 参加者とアンケート結果

今回の参加者は全員で92名(講師とサポート要員などの関係者10名を含む)、その内訳は、行政18名、コンサルタント35名、市民18名、その他・不明21名であった。また、本会学会員は13名であった。

受講者82名(関係者10名は除く)に対してアンケート調査を行った結果、37名から回答があった。回答者の内訳は、コンサルタントと一般市民等がそれぞれ約半分ずつで、行政からも5名の回答があった。担当業務(コンサルタントと行政の回答)の回答としては、半半数近くが技術系であり、内、生活環境、自然環境、全般がそれぞれ1/3ずつであった。その他、業務管理と行政業務と続き、研究職はゼロであったが、審査会委員は1名いた。アンケート結果から今回のキャラバンについてはおおむね満足していただいたと思われる。以下にアンケート結果をまとめた。詳細は表1および表2を参照されたい。

- ・興味を惹かれた講演として、生物多様性が27名、7割以上と多く、次に静岡市アセス条例が17名と多かった。これは、静岡市民が興味を持つものとして生物多様性分野の最新動向を講演題目に入れたことが功を奏したと言える。また、地元市民の新条例に対する関心の高さが伺われた。
- ・理解しやすかった講演として、同じく生物多様性が17名と最も多く、次に静岡市アセス制度と小雑誌「アセスの心得」がともに12名であった。
- ・個別コメントでも、生物多様性分野についての共感が多く、ミティゲーション・ヒエラルキーや生物多様性オフセットや里山バンキングなどの仕組みについて興味を持ったとの声が多かった。また、「心得」についても新鮮だということで期待が寄せられた。
- ・その他、地元事例の紹介が欲しかった、時間が短いこと、モノクロ資料の見にくさ、会場の交通の

便の悪さ、会場の広さ(少し立ち見が出た)、駐車場の必要性、CPD登録の要望などの意見があった。

- ・今後も静岡市でのこのような勉強会を継続して欲しい要望があり、取り上げて欲しいテーマとしては、地元事例、オリンピックやリニアなどの最新事例、生物多様性分野の事例や手法紹介などが多かった。

4. 懇親会

会場から徳川家康の駿府城のお堀端を少し歩いたところにある居酒屋で開催された懇親会には、受講者あるいは懇親会だけの参加者併せて19名、講師とサポート要員などの関係者10名を含む合計29名が参加した。職種の内訳は、行政7名、コンサルタント・事業者・アカデミックが計12名であった。

開発事業者や行政、コンサルタント、大学関係者などや、講習会には参加できずに懇親会のみに参加した市民も加わり、講習会の熱気以上に意見や質問が続出し、おいしい料理やお酒の効果もあり、たいへん熱い静岡の夜の幕を閉じた。

5. 今後への提言

今回、半年前から地元と密な打ち合わせをしていたため、開催時期の決定、ターゲット、広報、会場(懇親会含む)については静岡市が引き受けていただき、地元の業界団体にもこれを支援していただいた。今後も開催地の行政や企業の積極的な支援を受けて実施することが望ましいと考える。そのために土地勘のあるコーディネーターの存在は重要だろう。

講演テーマと構成では、今後もキャラバンのそもそもの趣旨から環境アセスメント制度の理念は不可欠である。しかし同時に、多くの市民が興味を持つ、例えば時事問題、具体的な技術や事例、生物多様性分野や景観分野等を同時に提供することも重要である。研究部会との連携も可能性があろう。

キャラバンは1都市1回と限らず、今回の参加者からの要望にもあるように、同一都市での第2弾、第3弾があっても良いかもしれない。長時間の1回のセミナーよりも適正時間の複数回セミナーの方が普及・啓発には効果があるかもしれない。

最後に私事で恐縮だが、市の広報誌を見た、最近亡くなられた恩師、奥富清先生の御嬢さんがわざわざ参加してくれて、故郷、静岡でのキャラバンで初めてお会いできたことは本当に感激であった。

表1 2016年度 全国キャラバン講習会 in 静岡 受講者アンケート結果

Q1. 職種	回答数	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	(19)	(20)	(21)	(22)	(23)	(24)	(25)	(26)	(27)	(28)	(29)	(30)	(31)	(32)	(33)	(34)	(35)	(36)	(37)		
1) コンサルタント	18	○	○	○	○	○		○	○	○	○		○		○			○			○	○	○								○						○			
2) 行政関係	5																									○		○		○	○		○							
3) 教員	1					○																																		
4) 学生	2																																	○		○				
5) NPO・NGO	1																																					○		
6) 一般市民	5																○		○									○						○						
7) その他(4											○		○		○				○								○												
	36											環境 大学		会社 員		事業 者																								
Q2. 担当業務のうち主な業務と従たる業務																																								
主な業務																																								
1) 技術系(生活環境項目)	5			○		○								○		○										○														
2) 技術系(自然環境項目)	5			○				○																	○												○	○		
3) 技術系(全般)	6	○							○			○	○		○							○																		
4) 行政事務	4																										○			○	○		○							
5) 業務管理	7		○					○		○								○					○	○											○					
6) 研究職	0																																							
7) アセス審査	1																																							
8) その他(6						○					○								○								○		○							○			
	34						教育																																	
従たる業務																																								
1) 技術系(生活環境項目)	2													○																										
2) 技術系(自然環境項目)	1																																							
3) 技術系(全般)	6			○			○	○		○																														
4) 行政事務	0																																							
5) 業務管理	3													○		○																						○		
6) 研究職	0																																							
7) アセス審査	0																																							
8) その他(5									○										○		○								○							○			
	17																																							
Q3. 興味を惹かれた/理解し易かった講演																																								
興味を惹かれた講演																																								
1) 環境アセスの動向	11	○	○					○			○		○									○		○											○	○			○	
2) 小冊子「アセスの心得」	12							○					○																											
3) 生物多様性	27	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
4) 静岡市アセス制度	17	○	○			○	○	○			○		○									○		○	○															
5) 意見交換会	4							○	○																															
	71																																							
理解し易かった講演																																								
1) 環境アセスの動向	9	○	○											○																										
2) 小冊子「アセスの心得」	12				○		○			○	○																													
3) 生物多様性	17	○	○			○	○			○		○	○																											
4) 静岡市アセス制度	12		○										○	○																										
5) 意見交換会	1																																							
	51																																							

表2 2016年度全国キャラバン講習会 in 静岡受講者からの個別コメント

Q3. 興味を惹かれた/理解し易かった講演		
⑩	時間がもう少しあればよかった。	全般
⑩	事例の説明がもう少しあればよかった。	全般
⑱	1)「最もむずかしい」と感じたテーマ。パワポの表のレイアウトが「横」なので、見づらかった。	制度
⑱	1)「モノクロ」だと、棒グラフの項目のさかい目がわからず、大変わかりにくい。持ち帰って自分なりに改めて調べて勉強しようとしても、これですとさっぱり分かりません。改善をお願いしたいです。	制度
⑥	地球温暖化の問題も含めた話が心に残った。	心得
⑬	環境アセスメントの技術的側面については関心を持って情報収集を行ってきたが、「心得」についてはあまり関心を寄せていなかっただけに新鮮な講演でした。	心得
⑰	環境アセスメントを実施する際の心得について、若手技術者向けに理解しやすく説明いただいた。	心得
⑳	2)について、講演内容の順序項目を整理して話して欲しかった。	心得
①	生物多様性は大変興味深く拝聴した。	生物
⑥	「定量影響評価と公開の重要性」「Biodiversity Offset」	生物
⑥	第4の生態系の危機（地球温暖化による危機）	生物
⑭	代償ミティゲーション、里山バンクは、ふだんの業務でふれていないことで、とても興味深かった。	生物
⑱	3) 興津の田舎で幼少期をすごし、身近だった生物が全く見られなくなった最近のことを思うと、やはりこうした「生物多様性」と環境の問題は最も身近で、一市民が取り組みやすいテーマと考えるからです…が、環境大学でやった内容より、専門用語だらけで、内容はかなり難解でした。家でしっかり勉強したいです。	生物
⑳	長野県南部の中山間地で生まれ、生活し、退職後はそこで農業を楽しんでいます。田舎暮らしの中で考えること、感じていることの一部を認めていただけるような講演でありがたく感じました。自然への負荷を小さくしていく考えが広がらないと環境アセスメントが一般に受け入れられにくいように思います。	生物
⑳	日本にも生物多様性オフセットを導入すべき。→新しいビジネスチャンス	生物
㉒	里山バンクに興味を持った。	生物
⑳	3)の考え方が、まだ一般に普及していない（知らされていない）。もっと多くの人に理解させたい考え方で、大変興味深い内容だった。講演を聴けて良かった。	生物
⑳	生物多様性を対象とした環境アセスメントの方法がよく分かった。スライドも見やすかった。	生物
⑫	全体的に時間がない中、3)、4)は聞き易く、理解し易い説明でした。	生物、 条例
⑳	3)、4)は、静岡に関係した内容だったので身近に感じました。	生物、 条例
⑩	個人的な感想を入れてくれたのがよかった。	意見
⑫	地域特性を考慮した（自主）アセスについての質問と回答は、日本の現状の制度の問題点と、現状の制度での取り組み方、という2つの視点で面白かったです。	意見
②	たいへん勉強になりました。	
⑫	1)、2)は、(テキストを家で)ゆっくり読みます。	
Q4. 今後取り上げて欲しい講義		
⑰	アセスの心得は、今後も継続的にやって欲しい。	心得
⑧	日本における定量的評価、また生物多様性オフセット等の制度化に向けての課題と提案、意見公開会を更に掘り下げる機会があれば。	生物
⑳	「生物多様性分野の最近の動向」について、今回時間が少なかつたため、もっと詳しく聴きたいと思いました。	生物
㉑	特定外来種の現状と今後の取り組み	生物
⑳	環境 DNA	生物
⑧	解析手法	解析技術
㉒	調査解析に関する新技術等について	解析技術
⑳	生態系、特殊性の具体的な評価方法（メリット、デメリット、事例、効果検証）	解析技術
⑧	開催地域での事例紹介もあとおもしろいかなと思います。	事例
⑩	先進事例の紹介をして欲しい。	事例
⑫	自主アセスに精力的に取り組んだ事業者の話など聞いてみたいです。	事例
⑳	東京オリンピックアセスについて	事例
⑳	実際のリニア新幹線建設事業に関するアセスメントの説明（公聴会があれば、その情報を知りたい。）	事例
⑳	事例を紹介していただくようなもの	事例
⑥	地球温暖化を含めたお話を聞けると世界的なことも理解できるかなと思いました。	温暖化
⑱	大変難しいテーマで講師の問題もありますが、「環境問題のウソ」「環境問題の懐疑論」「環境問題 CO2 原因のウソ」などテーマとして取り上げていただきたいです。	環境問題
Q5. 開催場所や時間など課題や改善点		
⑦	会場が駅からもう少し近いとありがたいです。	会場
⑱	会場が狭い。会場を押さえる問題もあるかと思いますが、多少不便なところでも、やはり多くの人は車で来場したいというのが本音だと思います。（私も電車賃とバス代がバカにならないので、かなり早く来場しました）かつ、もう少し、ゆったりした席を確保できるところで、お願いしたいです。	会場
⑳	駐車場が満車で、あいているところを探して遅刻してしまいました。	会場
⑳	会場が狭く、息苦しい。（環境悪化）	会場
⑳	概要を端的に説明するのではなく、全体的にもっと時間をかけて説明して欲しかった。	時間
⑳	コンパクトで良かったとおもう。（本来ならではの講義をあと1時間は欲しいが、いろんな条件があったのでしかなかったと思う。）	時間
㉒	学会のメールを環境省から環境カウンセラーに通していただき、この情報を知りました。ありがたかった。	広報
⑦	CPD 登録ができればありがたいです。	CPD
⑩	全国キャラバンは、とても良い方法だと思います。	
⑥	とてもよい講習会であったと思います。	